

1 いじめ防止等に関する学校の考え方

(1) いじめ対策の基本理念

いじめ問題への対応は学校における最重要課題の一つである。いじめを根絶するための理念として、次の5つを掲げる。

- いじめを防止するために、あらゆる機会を通して、生徒に対して「いのち」はかけがえのない大切なものであることを伝え、自分の「いのち」はもちろん他人の「いのち」も大切にすることをはぐくむ教育活動の充実に取り組む。
- いじめは、人間として決して許されない行為であり、すべての生徒、保護者、教職員等学校関係者、その他生徒に関わるすべての大人が、いじめに対する正しい理解をもって、いじめの根絶に取り組む。
- いじめは、学校の内外を問わず様々な場所・場面で起こりうるものであり、生徒たちの周りにいる大人たちが、いじめが行われなくなるよう見守るとともに、学校はもとより、家庭や地域住民、関係機関、地域の団体などが連携して取り組む。
- いじめは、どの学校でも、どの生徒にも起こり得るものであり、すべての生徒が安心して学習、その他の活動に取り組むことができるよう、教育活動全般を通じて、いじめの防止等に取り組む。
- いじめは、子供たちが所属する集団の構造や人間関係等に起因することから、互いの存在を認め合い、心の通う絆づくりにつながるような学級づくりや集団づくりを進める。

(2) いじめ防止等に関する基本的な考え方

いじめ問題に取り組むにあたっては、「いじめ問題」にはどのような特徴があるかを十分に認識し、日々「未然防止」と「早期発見」に努めるとともに、いじめを認知した場合は、「早期対応」に適切に取り組む。

また、いじめをしない、させない、ゆるさないためにも、地域や家庭、関係機関と一丸となって相互に協力する関係づくりを進める。